

石田泰尚&山中惇史 デュオリサイタル

第Ⅰ部

ヴァイオリン・ソナタ 第25番 ト長調 K.301(293a) モーツァルト
ヴァイオリン・ソナタ イ長調 FWV8/M.8 フランク

第Ⅱ部

《ロザリオ・ソナタ》より パッサカリア ト短調★ ビーバー
愛の小径★★ プーランク
上を向いて歩こう、ただし足元にもお気をつけて★★ 山中惇史
ソナタ・ピンパンテ ロドリゴ

★ヴァイオリンソロ ★★ピアノソロ

秋 2025 四季コンサート

2025年10月14日(火) 17:45開場 18:30開演
会場: アクトシティ 浜松 中ホール
主催: 浜松音楽友の会

プロフィール

石田泰尚(いしだ やすなお)ヴァイオリン

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川県フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来“神奈川県フィルの顔”となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川県文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル“石田組”など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されその熱いステージの模様は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「ららら！クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスター(2025年4月よりソロコンサートマスター)を兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ」を刊行。ミューザ川崎シンフォニーホールにて無伴奏から協奏曲まで様々な編成で演奏する「石田泰尚スペシャル熱狂の夜」を2022年、及び2024年に開催。2024年には石田組でNHK「あさイチ」に出演、日本武道館公演を行い8,000人以上を動員し大きな話題となった。同年リリースされた『石田組 結成10周年記念 2024・春』が第39回日本ゴールドディスク大賞インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞した。2025年4月より横浜みなとみらいホール「プロデューサー in レジデンス」第3代プロデューサーに就任。2026年10月には石田組で大阪城ホール公演が予定されている。使用楽器は1690年製 G.Tononi、1726年製 M.Goffriller。
ホームページ <https://musiciansparty.jp/artist/ishida/>

山中惇史(やまなか あつし)ピアノ

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て同大学音楽研究科修士課程作曲専攻修了。後に同大学器楽専攻ピアノ科卒業。第26回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位受賞。
器楽、室内楽、合唱など多数がヤマハミュージックメディア、カワイ出版などから出版されている。またピアニストとしては2018年にリサイタル・デビュー。共演者としても絶大な信頼を置かれ、国内外の著名なアーティストと共演を重ねる。ピアニスト、作曲家、アレンジャーとして参加した各CDはレコード芸術誌にて特選盤、準特選盤に選出されている。
東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川県フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団など多数のオーケストラとの共演、作品が演奏されている。最新アルバムは『ショパン-旅路-』日本コロムビアより発売。2025年2月号からピアノ音楽専門誌「月刊ショパン」に「バリ暮らし、音楽と食の庭から」を連載中。

X (旧Twitter) @ginyamagin
Instagram @yamanaka.atsushi

石田泰尚&山中惇史 デュオリサイタル

